

## 「とちぎの食と農業アクションプロジェクト」について ～県民参加型運動の方針・展開～

- 農業を取り巻く情勢が大きく変化する中、本県の食と農業の持続性を確保するためには、食と農業の関する課題や重要性について、県民の理解促進が必要です。
- また、理解促進に加え、県民が実際に食と農業に対する応援行動を実践するための環境づくりが重要です。

# 目指す姿

県産農産物に関係する生産・流通・加工・消費の  
それぞれの立場の人がお互いのファンになって、  
お互いを応援しあう



みんなで栃木県の食と農業を盛り上げる



## これまでの経緯

- ・地産地消の推進方針を定め、各種施策を展開
- ・「とちぎ地産地消県民運動実行委員会」を設置し、  
地産地消の推進に係る取組を展開



消費者の理解促進に取り組み、  
地産地消の概念は浸透



- ・農業を取り巻く情勢変化
- ・食料・農業・農村基本法が改正

食と農業を巡る情勢への理解を深めつつ、  
地産地消のレベルも深めたい

「食と農業」への学びと関わりを深化

# 運動の展開

既存の取組がベース

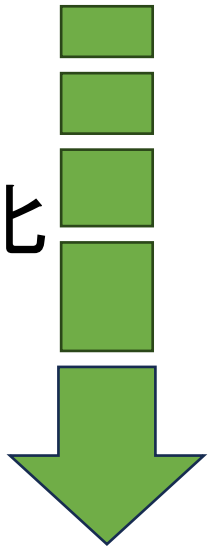
- ・食と農業への理解促進
- ・地産地消の拡大

## +αに取り組む背景

- ・SNSの普及（手軽な情報収集・発信）
- ・ストーリー消費・応援消費の風潮の高まり
- ・食料・農業・農村基本法の改正

特に若者が参加しやすい環境づくり

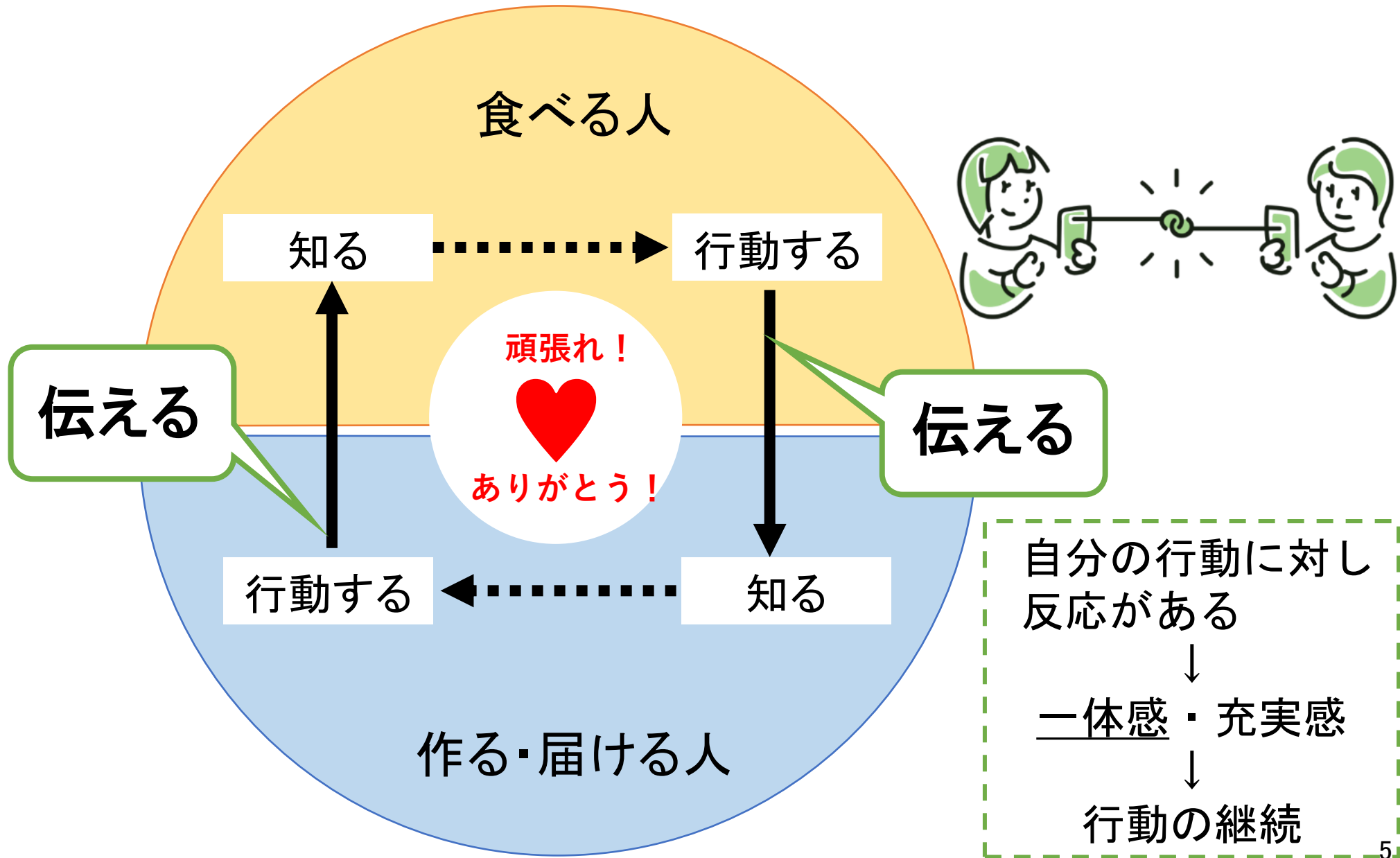
深化



県民一人一人が、「とちぎの食と農業」に対する  
理解を深め、「応援したい！」思いを行動に移す

県民参加型運動を展開

# 運動が発展していくイメージ



# 具体的な応援行動

## 食べる人

1	選ぶ	買い物や食事などに、県産農産物を選んでみよう！ (例) 直売所で買い物する 地産地消推進店や農村レストランで食事をする 県産農産物を使ったお土産を買う
2	調べる	興味をもったらまずは調べてみよう！ (例) 今日食べた食材の産地はどこ？ 郷土料理の作り方は？
3	触れる	身近で開催されるイベントや気軽な体験に参加してみよう！ (例) 農産物マルシェに行ってみる 農産物が当たるキャンペーンに応募してみる 果物狩りを体験してみる
4	伝える	食や農業への思いを発信してみよう！ (例) 食への感謝の思い 農業者への応援メッセージ 体験活動の感想
5	もっと ディープに	より深く学び、関わってみよう。 (例) 今、世界の食料や農業に何が起きているの？ 国は食料を確保するためにどんな対策を打ち出している？ 自分で農業を始めてみる（家庭菜園から）

# 具体的な応援行動

## 作る・届ける人

1	伝える	知って欲しいことは積極的に届けよう！ (例) 小売店：店頭ポップで地元農産物の魅力を照会 農業者：旬の情報、品質へのこだわりをSNSで発信 流通業者：食卓に届くまでの輸送技術・工夫を動画で発信
2	耳を傾ける	関わる人の声を聞いてみよう！ (例) 店頭メッセージを書き込めるノートを設置する SNSで検索してみる イベントに参加してみる
3	場をつくる	みんなと一緒にできる活動を考えてみよう！ (例) 農作業体験の開催 職場体験学習への協力 イベントの開催
4	返す	応援にはちゃんと反応を返そう！ (例) 応援メッセージへの御礼を発信する 提案されたアイデアを取り入れてみる
5	もっと ディープに	より深く学び、工夫してみよう。 (例) 農業を巡る世界や国内の動き、消費者の意識などを学ぶ 自分が挑戦してみたい取組を学ぶ 新たな販路を開拓してみる

# 運動参加のお約束

## ◆楽しんで活動しましょう

義務になっちゃったらつまらない。  
自分が無理なく楽しんでできる応援を！



## ◆応援も感謝も、行動で示しましょう

心の中で応援すること、感謝することも大切ですが、相手に伝えるためには、相手が分かるよう  
に行動することが必要です。



# 協議会の役割

## 県民の応援活動を後押し

- ・運動の方向性を検討するプロデューサー
- ・運動の進捗を管理するマネージャー
- ・関係者間を繋ぐコーディネーター

### 〈会議の内容〉

第1回目(本日):協議会の設立、運動の内容について

第2回目(3月頃):活動成果報告など

# 構成団体の行動

各団体が既に実施している地産地消の推進、食や農業への理解促進の活動を基本に、工夫を加えながら取組を展開

分野	具体例
農業団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ J Aまつり</li><li>・ 各種県産農産物PRキャンペーン</li><li>・ 栽培～調理までの体験提供（食と農ファン拡大体験講座など）</li></ul>
生産者団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 就農希望者等への農場公開（とちぎオープンファームなど）</li><li>・ 学校給食への食材の提供</li></ul>
商工団体等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県産食材を使ったメニューの考案、提供</li><li>・ 食文化セミナー</li></ul>
消費者団体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 食の安全ネットワーク学習会</li><li>・ 料理講習会</li></ul>
教育関係	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 食育だより</li><li>・ 給食レシピコンテスト</li><li>・ 学生による農村拠点の運営</li></ul>
行政	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 推進月間や「●●の日」などの制定</li><li>・ 産業祭り、マルシェの開催</li><li>・ プラットフォームづくり</li></ul>